

RSC 中部、飛島コンテナ埠頭で警備業務を開始

当社子会社の株式会社アール・エス・シー中部(本社:名古屋市西区、代表取締役社長 平本 潤、以下「RSC中部」)は、2024年4月1日から、飛島コンテナ埠頭株式会社(本社:愛知県海部郡飛島村、代表取締役社長 西村 繁)様が運営する「飛島ふ頭南側コンテナターミナル」(愛知県海部郡飛島村東浜以下、TCB)の警備業務を開始いたしました。TCBは国際拠点港湾である名古屋港に所在するコンテナターミナルの一つであり、日本初の自動化ターミナルとして最新の設備を誇る重要港湾施設です。

RSC中部は、ターミナル施設ゲートの立哨・守衛室におけるモニター監視(冷凍コンテナ温度モニター・侵入者監視モニター)・定時巡回(施設外周)・冷凍コンテナ検温・本船(外航船)入出港立合監視などの業務を実施いたします。

《飛島ふ頭南側コンテナターミナル 施設概要》

- ① 岸壁施設: 幅 750mにわたる2カ所の係留施設を有し、全長 330m、総トン数 90,000tクラスの大型コンテナ船2隻が同時に荷役可能
- ② 荷役設備: ガントリークレーン6基、ラバータイヤ式ガントリークレーン(RTG)25機
自働搬送台車(AGV)34台



【飛島コンテナ埠頭株式会社 Tobishima Container Berth (TCB)】

事業内容: 2005年12月に供用開始された「飛島ふ頭南側コンテナターミナル」を運営

設立: 2003年7月

代表取締役社長: 西村 繁

出資会社: 川崎汽船(株)・(株)商船三井・日本郵船(株)はじめ10社

【株式会社アール・エス・シー中部】

事業内容: 警備業、建築物清掃業、設備管理業務等

設立: 1969年8月

代表取締役社長: 平本 潤

株主: 株式会社アール・エス・シー

以上

【本件に関するお問い合わせ】

会社名 株式会社アール・エス・シー

担当 経営企画部 相馬 康生

電話 03-5952-7211